

## 天龍峡温泉交流館「ご湯つくり」の利用状況等について

産業経済部観光課

◇天龍峡等への誘客、市民及び来訪者の交流促進、地域や周辺施設等と連携した取り組み等を行うための拠点として、平成29年4月にリニューアルオープンした。

◇平成29年3月定例会産業建設委員会において、「天龍峡温泉交流館完成後は、経営状況を所管する委員会に報告すること」との付帯決議がなされており、これを受けて、平成29年6月以降の定例会における産業建設委員会協議会において、天龍峡温泉交流館「ご湯つくり」における月毎の利用者数等を報告してきた。

◇指定管理者である「株農耕百花」から平成30年度の指定管理に係る実績報告があったので、平成30年度利用者数の報告と併せて、本委員会協議会での報告を行う。

## 1. 平成30年度の利用状況

## ①「若がえりの湯」月別の推移（単位：人）

月(営業日数)	合計(日利用)	一般	会員	左同伴	割引	無料	回数券
4月(26)	3,179(143)	1,411	1,489	361	213	108	137
5月(26)	3,413(131)	1,451	1,335	319	116	77	115
6月(26)	3,056(118)	1,161	1,282	251	147	103	112
7月(27)	2,577(95)	1,044	1,102	212	50	68	101
8月(26)	3,679(142)	1,733	1,081	322	96	320	127
9月(26)	3,393(131)	1,484	1,209	248	217	144	91
10月(26)	3,549(137)	1,343	1,321	257	434	123	71
11月(26)	4,052(156)	1,799	1,360	297	375	94	127
12月(27)	3,780(140)	1,325	1,476	394	244	147	194
1月(25)	3,745(150)	1,488	1,542	356	93	67	199
2月(21)	3,167(151)	1,243	1,370	290	74	46	144
3月(27)	3,925(145)	1,540	1,616	399	104	80	186
合計(309)	42,055(136)	17,022	16,183	3,706	2,163	1,377	1,604
H29.4~H30.3	43,273(143)	19,951	14,760	3,926	1,476	1,302	1,858
前年比(%)	97.2	85.3	109.6	94.4	146.5	105.8	86.3

## ②「そばの郷」月別の推移（単位：人）（上段は月利用人数、中段は日利用人数、下段は営業日数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
月利用	1,533	1,054	822	838	1,256	817	1,060	1,496	748
日利用	59	41	32	31	48	31	41	58	33
営業日数	26	26	26	27	26	26	26	26	23

月	1月	2月	3月	合計	前年数	前年比
月利用	636	611	886	11,757	14,928	78.8
日利用	28	29	33	39	51	76.5
営業日数	23	21	27	303	294	—

## 2. 1年間を振り返って

- ・「若がえりの湯」利用者については、昨年度の43,273人に迫る42,055人（前年比97.2%）に利用していただいた。
- ・平成29年度利用者数は、リニューアルオープン効果が大きな要因であったと推察しており、その効果が薄れる30年度では、年度当初には前年度の約8割の利用にとどまるのではないかと予想していた。
- ・しかしながら、利用者減がほとんどなかったことは、大変うれしいことといえる。
- ・原因としていくつもの要因が考えられるが、一つには指定管理者による様々な自主事業の展開等の工夫や、周辺施設への営業活動、ホームページ等を使つての情報発信等も積極的に行つたことが挙げられる。
- ・利用者から「泉質の良さ」についての感想が今年度も多く寄せられており、「温泉自体の評判の高さ」が、大きく作用しているといえる。
- ・利用客減少が懸念されていた冬季期間においても、利用者の声を反映した今回行つた年末年始営業や「天龍峡プチマルシェ」開催、天龍峡観光案内所を中心に冬の天龍峡の魅力発信（写真のアップ）等、昨年度も行つた様々な取り組みが徐々に浸透してきたこともあり、大きな落ち込みになっていない。冬季だけではなく通年の誘客方法の1つとして、今後も実施していく予定。
- ・昨年の経験等を活かし、加えて「お客様の声」を非常に大切にすして速やかに実行に移すなどの取り組みが利用者の信用を受けることに繋がり、昨年度と同等の利用になったと考察する。
- ・利用者区分においては会員券利用者が増えており、地元密着型の傾向が出ている。料金も手軽ということもあり、冬季だけではなく1年を通じて家庭風呂利用から「若がえりの湯」への利用促進に繋がった。
- ・一般券利用が少なくなっていることから、観光等で訪れる人を含め、外部へのPRを一層行っていくことが重要になってくる。
- ・「時期、曜日、時間」によっては利用者が集中したことで混雑が発生し、利用者にご迷惑をかけてしまう場面が見られた。
- ・通常営業時における時間帯による利用者の平準化については、ホームページ等を利用して呼びかけはしているが、効果は出ていない。一定時間内または一定期間内の割引料金等による集客も考えたが、収入減につながる恐れがあったことから、実施はしなかった。
- ・この件は今後の大きな課題であり、経営状況等を見ながら対処方法を検討していきたい。
- ・「そばの郷」については、通年夜間営業休止等を行つた結果、利用客は11,757人（前年比78.8%）にとどまった。予約営業においては口コミ等による宣伝効果等があり、順調に推移している。
- ・今後、営業形態等を再考する中で、「若がえりの湯」利用者の取り込みや一般利用者の増加による営業安定や強化を図っていく必要がある。

- ・今年度中には（仮称）天龍峡大橋の開通が予定されている。これにより、今まで以上に来峡者の増加が予想される。
- ・指定管理者とともに様々な角度から利用者の動向等の検証分析を行い、「出来るところ」から改善を進め、さらなる利用促進や利用者の満足度アップに向けた対策を進めていく。

### 3. 平成 30 年度指定管理実績報告

#### ①(株)農耕百花の概要

- ・名称：株式会社農耕百花（飯田市川路 4764 番地 5）
- ・設立までの経過：平成 17 年 8 月 1 日：「天龍峡花の里管理運営委員会」発足  
平成 20 年 4 月 1 日：「天龍峡そば普及組合」発足  
平成 24 年 2 月 8 日：「株式会社農耕百花」設立 現在に至る

#### ②指定管理の内容

- ・指定管理施設：天龍峡温泉交流館「ご湯づくり」
- ・指定管理期間：第 1 回 平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 3 か年（非公募）  
第 2 回 平成 30 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日 3 か年（非公募）  
指定管理金額：7,710 千円
- ・業務内容：天龍峡温泉交流館の管理及び運営、同館における自主イベント等の実施、その他関連事項

#### ③各業務内容の実績

##### 1)温泉交流館の管理運営

- ・温泉運営事業：温泉利用人数 42,055 人(前年度 43,273 人 97.2%)
- ・食堂運営事業：食堂利用人数 11,757 人(前年度 14,928 人 78.8%)

##### 2)天龍峡温泉交流館でのイベント等自主事業実施

- ・ご湯づくりオープン 1 周年記念 第 10 回さくらグルメ祭り：4 月 8 日(土)
- ・第 6 回みつばつつじ祭り：5 月 5 日(祝)
- ・そよ風コンサート（「オーケストラと共に」：関連行事）：4 月 29 日(日・祝)
- ・高校生レストラン：30 年 10 月 27 日(土)、12 月 23 日(日)  
31 年 1 月 26 日(土)、2 月 10 日(日)、3 月 10 日(日)
- ・天龍峡プチマルシェ：30 年 7 月 14.15 日、8 月 11.12 日  
31 年 1.2.3 月
- ・新そば祭り開催（りんご風呂）：30 年 12 月 22.23.24 日
- ・森田梅泉コンサート：31 年 1 月 26 日(土)

##### 3)その他関連事項

独自に誘客チラシを作製し地元や近隣企業等関係各所に配布  
 食堂の営業に季節の食材を活かしたメニュー(ガレット等)を提供  
 南信州観光公社ツアーの昼食提供(11 月 4 日(日))  
 各社広告掲載及び「広報いいだ」等によるプレゼント企画  
 年末年始における「若がえりの湯」営業(12 月 29.30.31 日、1 月 3 日)

#### ④収支報告

収入：38,159 千円  
 支出：37,636 千円  
 差引： 523 千円

## 【収入内訳】

項目	内容	決算額	備考
営業売上①	温泉売上	17,192	
営業売上②	食堂売上	11,929	
営業外収入	指定管理料	7,710	飯田市
雑入	農産物販売等	1,328	
合計		38,159	

## 【支出内訳】

項目	内容	決算額	備考
人件費	人件費	10,229	
光熱水費	電気、ガス、上下水道料	8,643	
燃料費	ペレット料	5,206	
材料仕入費	食材仕入れ	5,395	
消耗品費		930	
温泉使用料		2,168	
管理諸費	消防設備・ろ過装置点検等	719	
共通経費	保険、報酬、諸税等	2,398	内税金 74
その他経費	通信宣伝、修繕等	1,948	
合計		37,636	